市民の皆さまへ

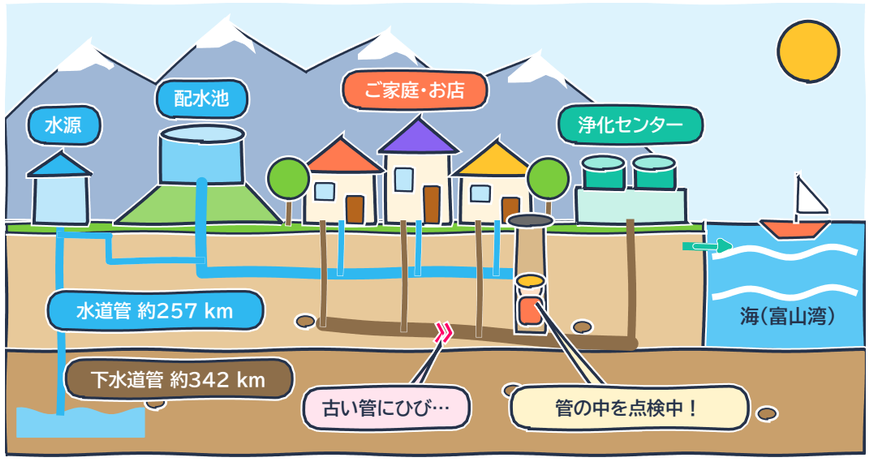
ウォーター PPP ってなに？

滑川市の水道・下水道を、これからも安心して使い続けるために

令和８年 11 月
滑川市 建設部
上下水道課
電話 076-475-1467
（案）

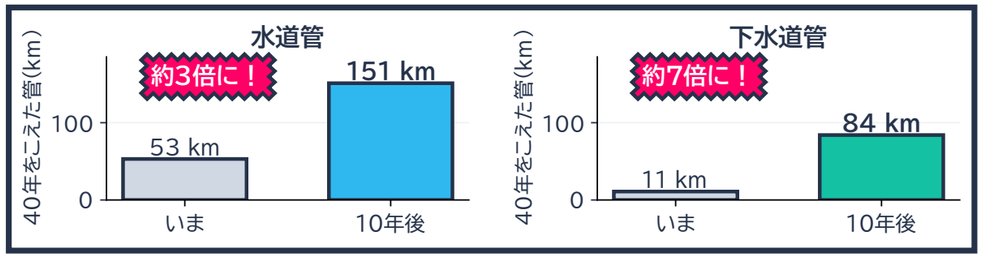
1　毎日の水を支えるしくみ

水道がきれいな水を届け、下水道が使った水をきれいにして海へ返しています。滑川市の道路の下には、水道管と下水道管があわせて約 600 km（新幹線の東京～新大阪より長い！）も通っています。



2　管が古くなり、取り替えが追いつかなくなります

管は 40 年ほどたつと取り替えの時期です。いまのペースでは、全部の水道管を取り替えるのに約 200 年。江戸時代から今までと同じくらいの長さです。これから 10 年で古い管が一気に増えます。

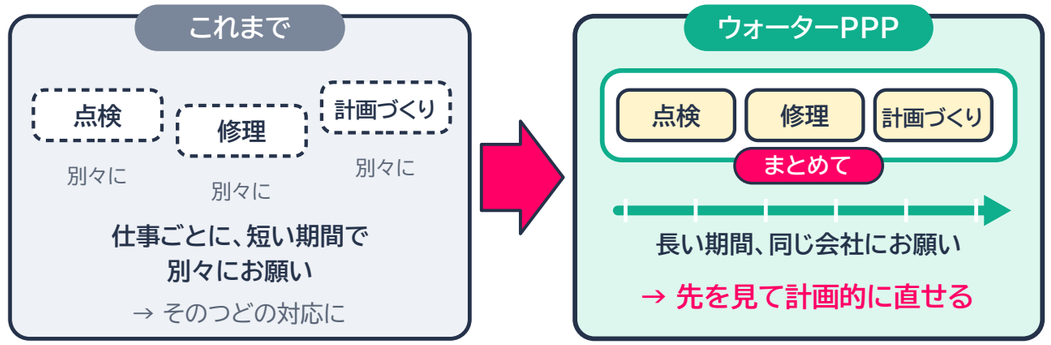


これからも安心して使い続けるために

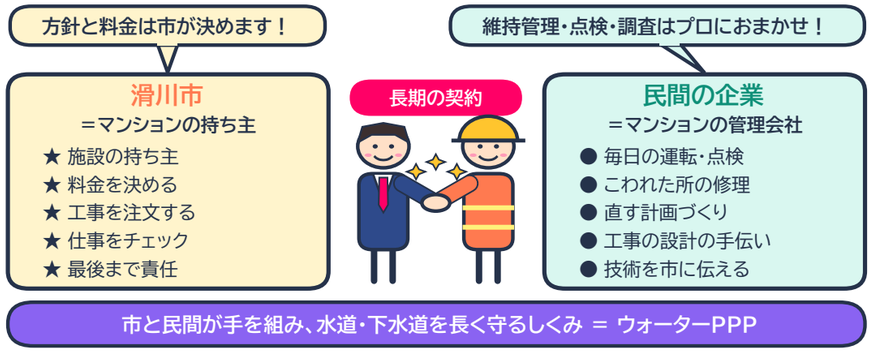
- **先を見て計画的に直す**
  点検・修理・計画をまとめて
- **毎日の水を守る**
  故障や災害にそなえる
- **次の世代へ引き継ぐ**
  水道・下水道を長く使い続ける

3　ウォーター PPP とは

水道・下水道の施設は市のものまま、点検・修理・直す計画づくりなどを、民間の専門の会社にまとめて、長い期間お願いするしくみです。



マンションにたとえると、市は「持ち主」、民間の会社は「管理会社」です。



「民営化」ではありません
施設の持ち主・料金を決める・最後の責任は、これまでどおり滑川市です

現在、滑川市はウォーター PPP の導入に向けた可能性調査を進めています。

4　よくある質問

Q. 水道料金・下水道使用料は上がるの？
A. 料金・使用料は、これまでどおり市が決めます（市議会の議決が必要です）。費用と効果はこれから試算し、導入の判断材料にします。

Q. 市内の企業はどうなるの？
A. 地元の企業が参加できる形も検討します。管の取り替え工事は、これまでどおり市が注文します。

Q. 水の安全や災害のときは？
A. 水質の管理と災害時の指揮は市が責任をもちます。企業の仕事は市が定期的にチェックします。